

第2章 鳥取市の概要

1 位置・地勢・土地利用

鳥取市は、鳥取県の北東部に位置する人口約20万人の県都で、北は日本海、東は岩美町、八頭町、兵庫県新温泉町、南は智頭町、岡山県津山市、西は三朝町、湯梨浜町に接しています。

市のほぼ中央部には中国山地を源とする千代川が北流し、また河口付近には千代川の土砂と日本海からの風・波という自然環境のもとに形成された鳥取砂丘や、日本最大の池である湖山池、温泉などがあり、独特で豊かな自然環境に恵まれています。

2004年（平成16年）11月1日に鳥取県東部の6町2村との市町村合併により、山陰地方で初の20万人都市となり、市域は、765.66平方キロメートルと県内最大の広さとなりました。

鳥取市の位置



各地域（旧市町村）の位置関係



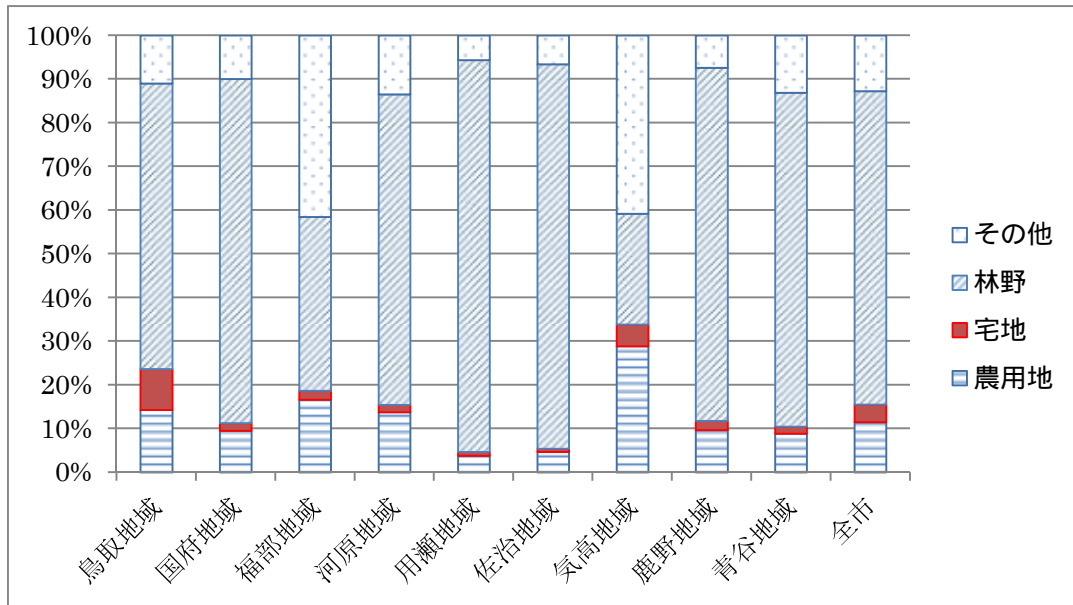
旧市町村区域を境にして「地域」と呼びます。

土地利用面積

単位：km²

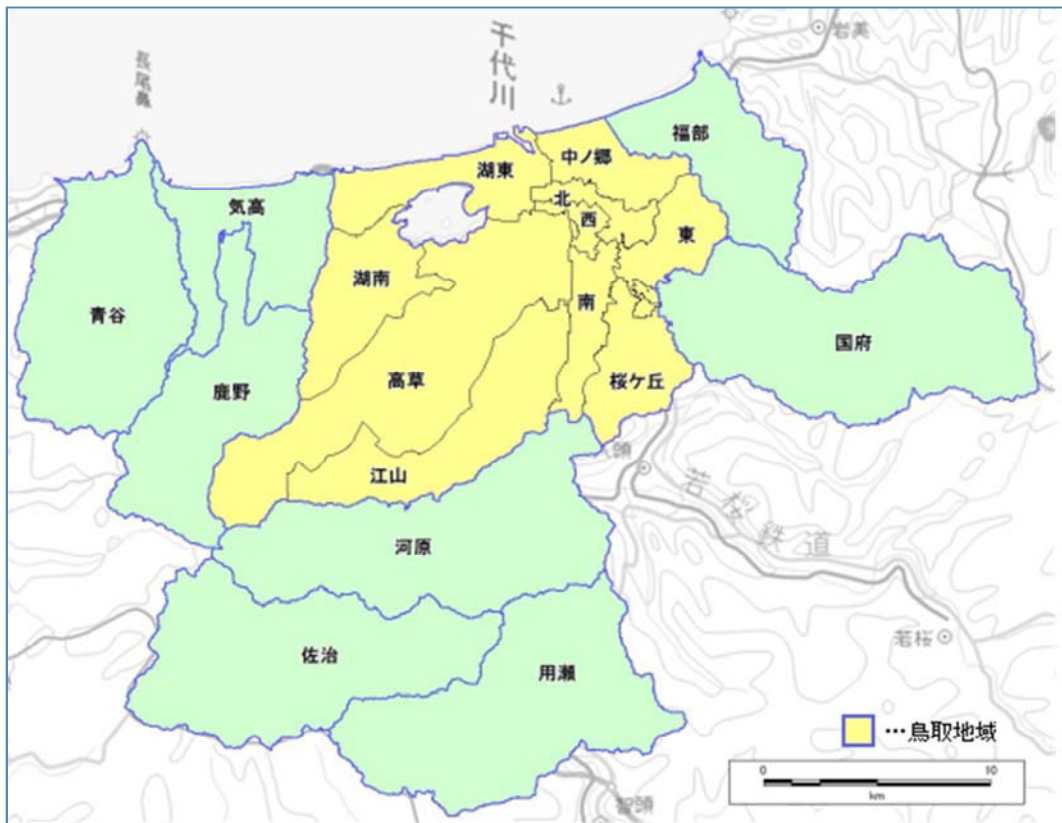
| | 鳥取地域 | 国府地域 | 福部地域 | 河原地域 | 用瀬地域 | 佐治地域 | 気高地域 | 鹿野地域 | 青谷地域 | 全市 |
|-----|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 農用地 | 33.8 | 8.9 | 5.8 | 11.5 | 3.1 | 3.7 | 9.9 | 5.1 | 6.0 | 87.8 |
| 宅地 | 22.3 | 1.6 | 0.7 | 1.4 | 0.7 | 0.6 | 1.7 | 1.1 | 1.1 | 31.2 |
| 林野 | 155.2 | 73.6 | 13.9 | 59.4 | 73.2 | 70.3 | 8.7 | 42.6 | 51.9 | 548.8 |
| その他 | 26.1 | 9.3 | 14.5 | 11.3 | 4.6 | 5.3 | 14.0 | 3.9 | 8.9 | 97.9 |
| 計 | 237.4 | 93.4 | 34.9 | 83.6 | 81.6 | 79.9 | 34.3 | 52.7 | 67.9 | 765.7 |

土地利用面積の割合の比較



中学校区の区域図

市域を中学校区に分けると18校区に分かれます。



千代南中学校区は、用瀬と佐治に区分

2 人口

2013年9月30日現在の人口（住民登録）は、193,970人となっています。

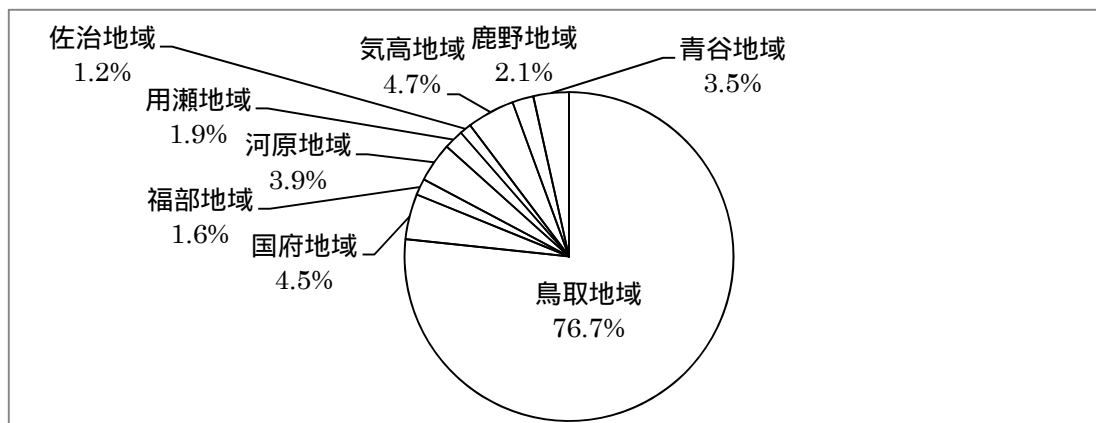
地域毎の人口割合

地域（市町村合併前の市町村の区域）に分けて比較すると、鳥取地域の人口が77%を占めています。鳥取地域と気高地域において比較的人口密度が高くなっています。

| 地域 | 世帯数 (戸) | 人口 (人) | 1世帯当たり 人口(人) | 1 km ² 当たり 人口(人) |
|------|------------|-----------|-----------------|--------------------------------|
| 鳥取地域 | 61,809 | 148,727 | 2.4 | 626 |
| 国府地域 | 3,200 | 8,675 | 2.7 | 93 |
| 福部地域 | 1,024 | 3,129 | 3.1 | 90 |
| 河原地域 | 2,462 | 7,507 | 3.0 | 90 |
| 用瀬地域 | 1,299 | 3,748 | 2.9 | 46 |
| 佐治地域 | 804 | 2,258 | 2.8 | 28 |
| 気高地域 | 3,242 | 9,090 | 2.8 | 265 |
| 鹿野地域 | 1,438 | 4,062 | 2.8 | 77 |
| 青谷地域 | 2,480 | 6,774 | 2.7 | 100 |
| 全体 | 77,758 | 193,970 | 2.5 | 235 |

出典：住民登録人口（2013年9月30日時点）

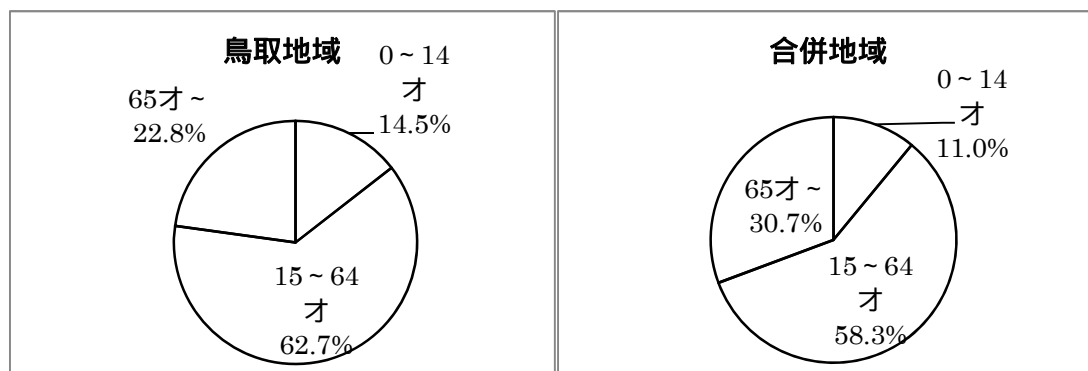
地域別人口割合



出典：住民登録人口（2013年9月30日時点）

人口構成

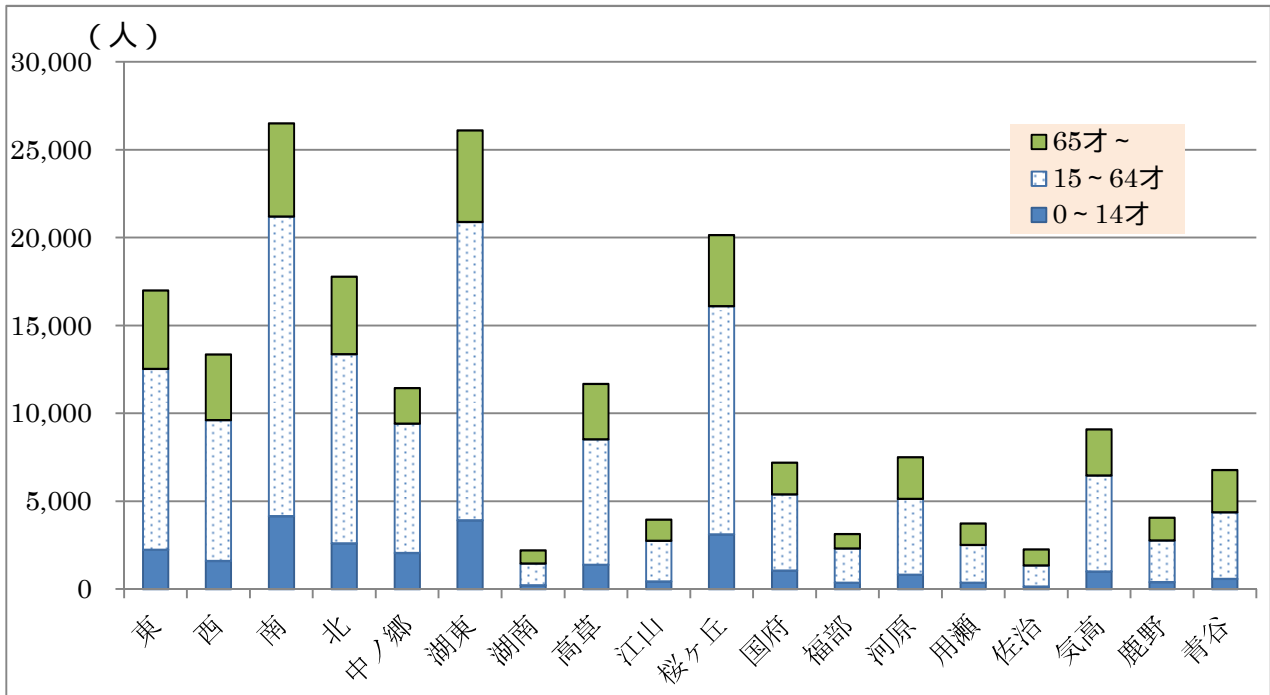
比較的、合併地域において65歳以上の人口比率が大きくなっています。



出典：住民登録人口（2013年9月30日時点）

中学校区別人口

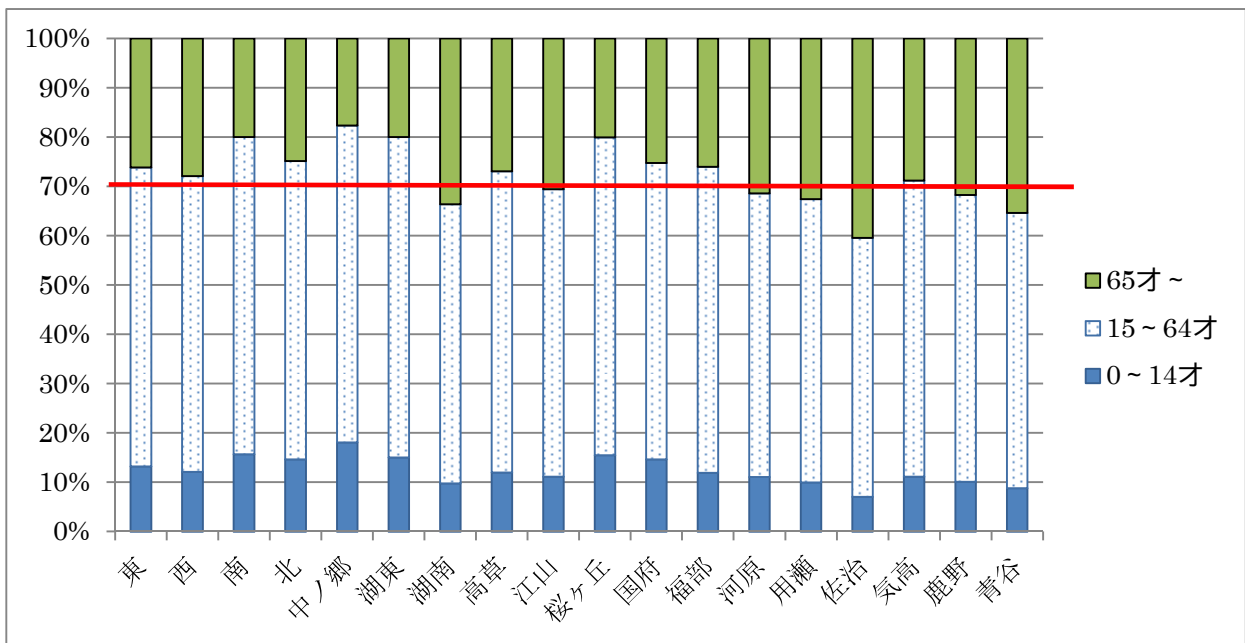
各中学校区において、大きなばらつきが見られます。



出典：住民登録人口（2013年9月30日時点）

中学校区別の年齢構成の割合

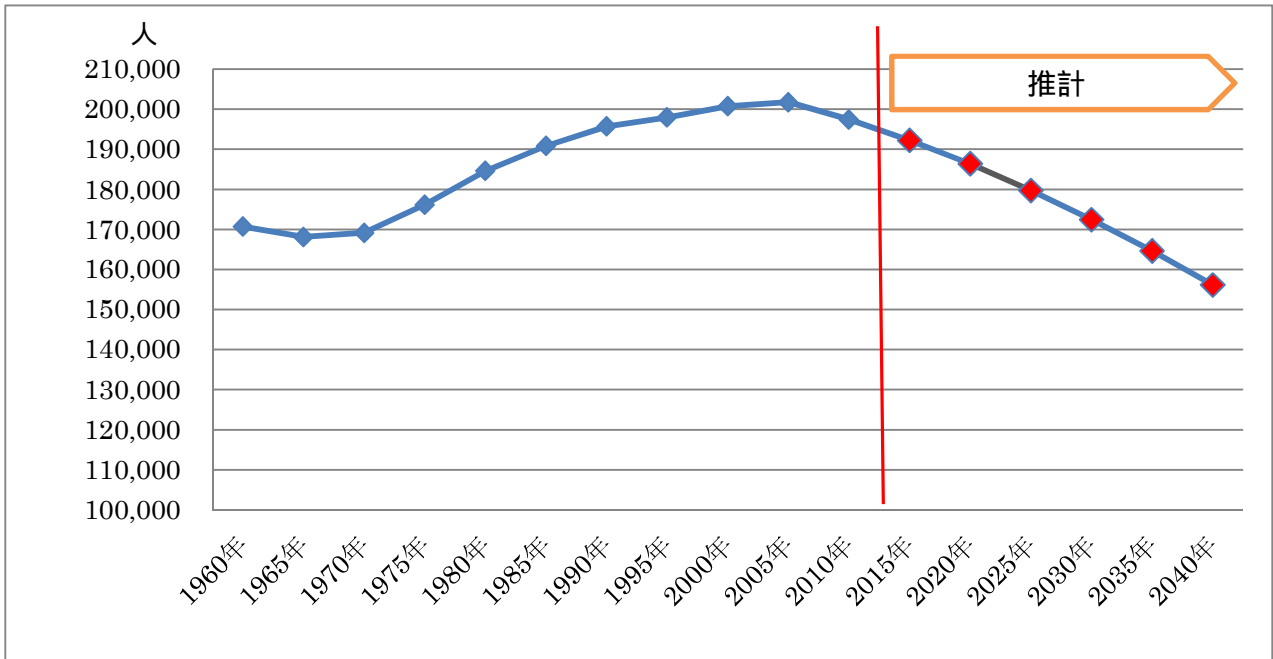
鳥取地域内では、湖南中学校区が、合併地域では佐治・青谷地域において65歳以上の人口比率が高くなっています。一方、南・中ノ郷・湖東・桜ヶ丘・国府中学校区において若年層や生産年齢人口が高くなっています。



出典：住民登録人口（2013年9月30日時点）

人口の推移と将来予測

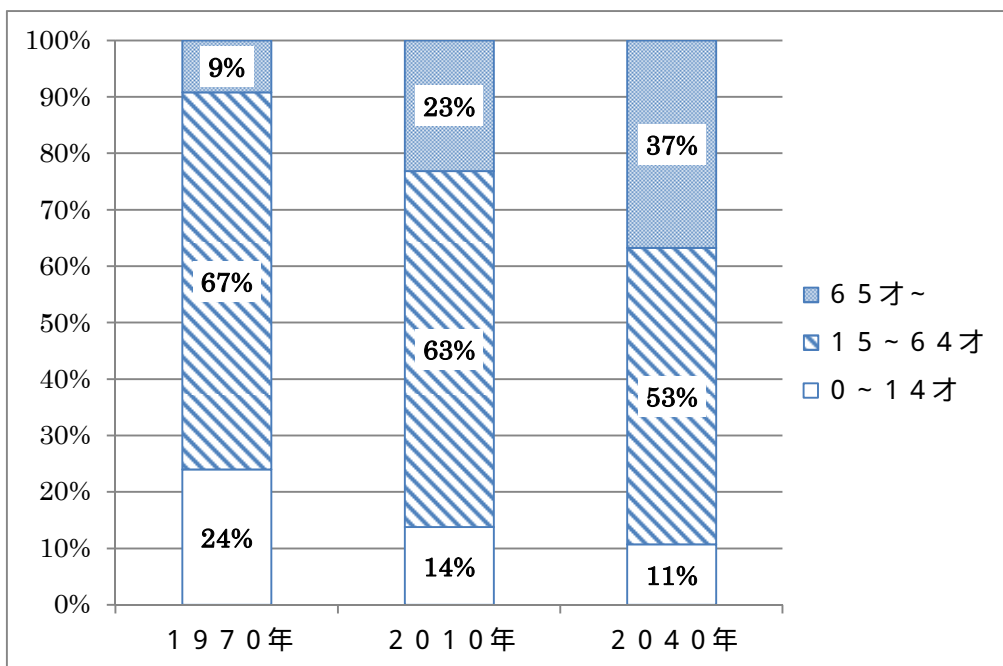
高度経済成長期から増加が続いた本市人口は、2005年をピークに20万人を越えましたが、推計によるとその後は減少を続け、2040年には約15万人となり高度成長期前の人口と同程度になる予測となっています。



2010年以前は国勢調査。2015年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」推計

年齢構成推移と将来予測

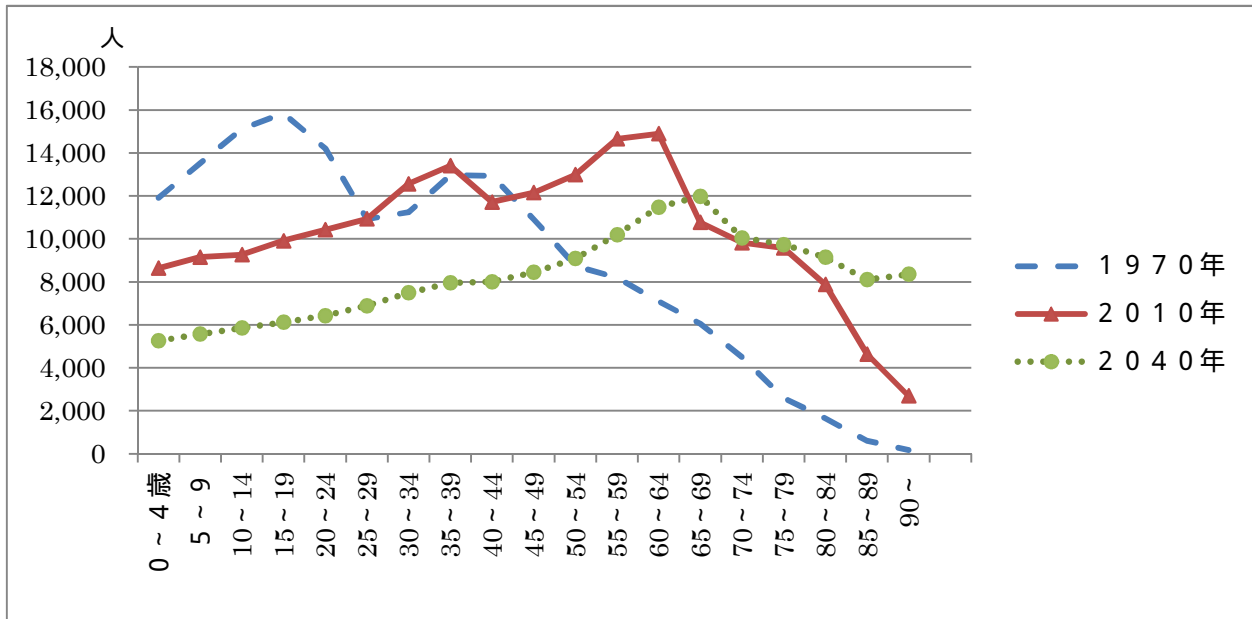
高齢者人口割合は、1970年から40年間で14%増加し、今後、2040年までの30年間で更に14%増加予測であり、高齢化の加速が予測されています。



1970年、2010年は国勢調査。2040年は「国立社会保障・人口問題研究所」推計

年齢人口別の推移と将来予測

1970年にヤマとなっている10才代を中心に2010年には55～65才のヤマを形成しています。推計によると2010年の30才代が2040年の60才代のヤマを形成することになり、1970年の少高齢多子社会から少高齢社会が顕著になっています。



1970年、2010年は国勢調査。2040年は「国立社会保障・人口問題研究所」推計

3 財政

公有財産の状況（2013年3月末時点）

施設以外にも、1,000万㎡の市有地（土地）を保有しています。

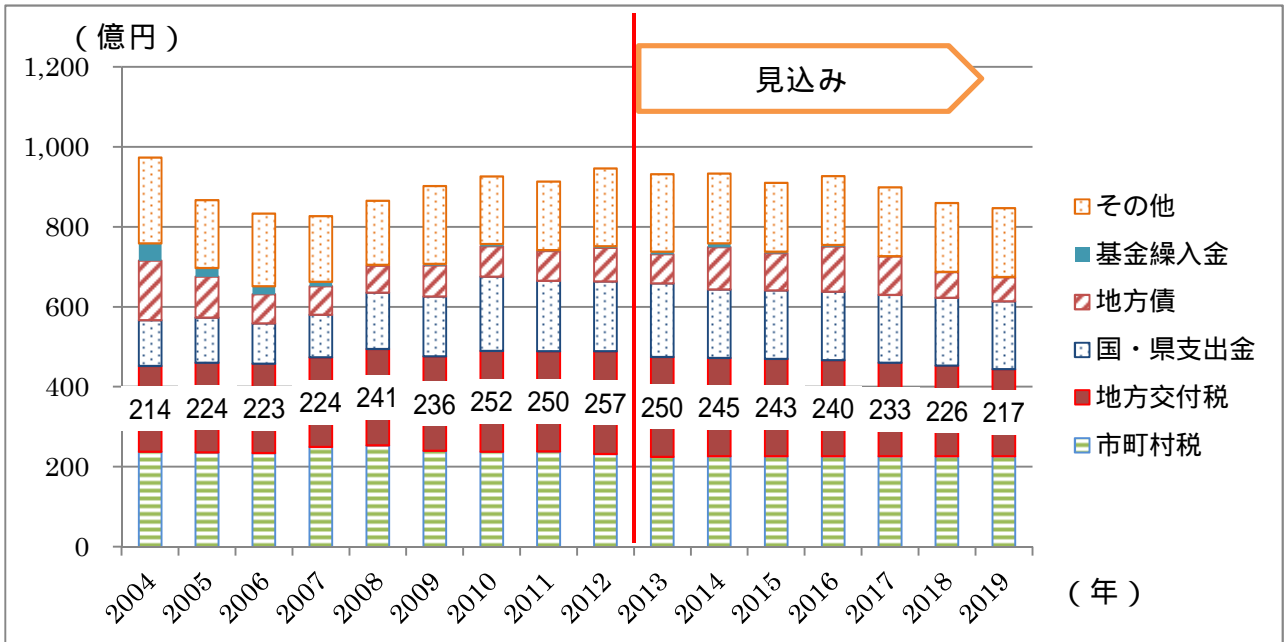
(㎡)

| 区 分 | | 土地（地積） | 非木造 | 木造 | 延床面積計 | |
|------|--------------|---------------|--------------|------------|------------|------------|
| 行政財産 | 本庁舎 | 63,619.67 | 57,591.90 | 92.04 | 57,683.94 | |
| | 公用財産 | 消防施設 | 11,343.15 | 2,333.59 | 1,084.29 | 3,417.88 |
| | | その他の施設 | 9,719.10 | 3,468.65 | 87.01 | 3,555.66 |
| | 公共用財産 | 学校 | 1,168,386.22 | 307,555.20 | 2,899.94 | 310,455.14 |
| | | 公営住宅 | 247,698.08 | 125,082.93 | 22,333.18 | 147,416.11 |
| | | その他の住宅 | 21,179.90 | 3,995.23 | 2,716.80 | 6,712.03 |
| | | 公園 | 3,282,816.19 | 4,465.38 | 1,249.47 | 5,714.85 |
| | | その他の施設 | 4,248,775.50 | 298,036.42 | 41,347.86 | 339,384.28 |
| | 山林 | 770,594.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| 小 計 | 9,824,131.81 | 802,529.30 | 71,810.59 | 874,339.89 | | |
| 普通財産 | | 208,694.00 | 21,456.09 | 6,408.66 | 27,864.75 | |
| 合 計 | | 10,032,825.81 | 823,985.39 | 78,219.25 | 902,204.64 | |

出典：平成24年度鳥取市歳入歳出決算書（区分・数値とも）

歳入決算額（一般会計）の推移及び見込み

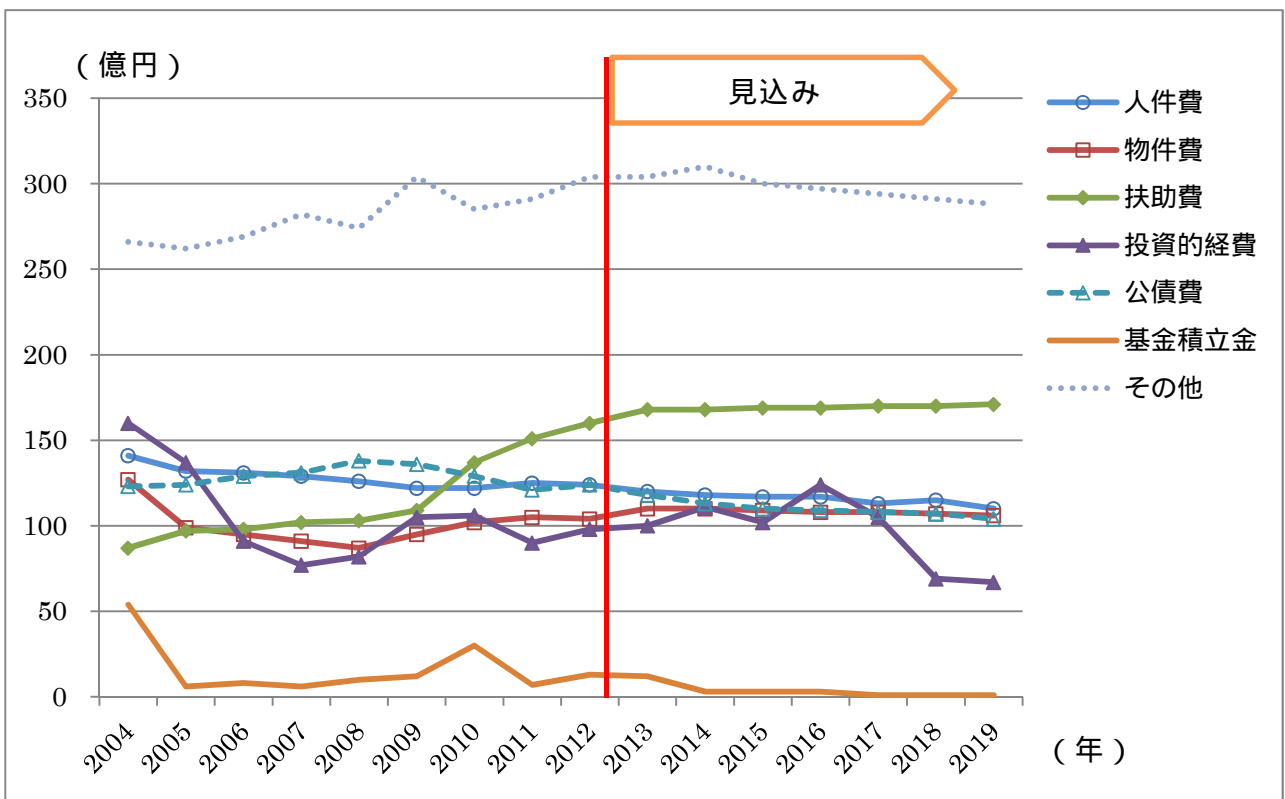
2012年度は約946億円の歳入がありましたが、合併算定替の影響によって、2015年度から段階的に地方交付税が削減されていき、2019年度には、約847億円まで歳入が減少する見込みです。



行財政改革課作成

性質別歳出決算額（一般会計）の推移及び見込み

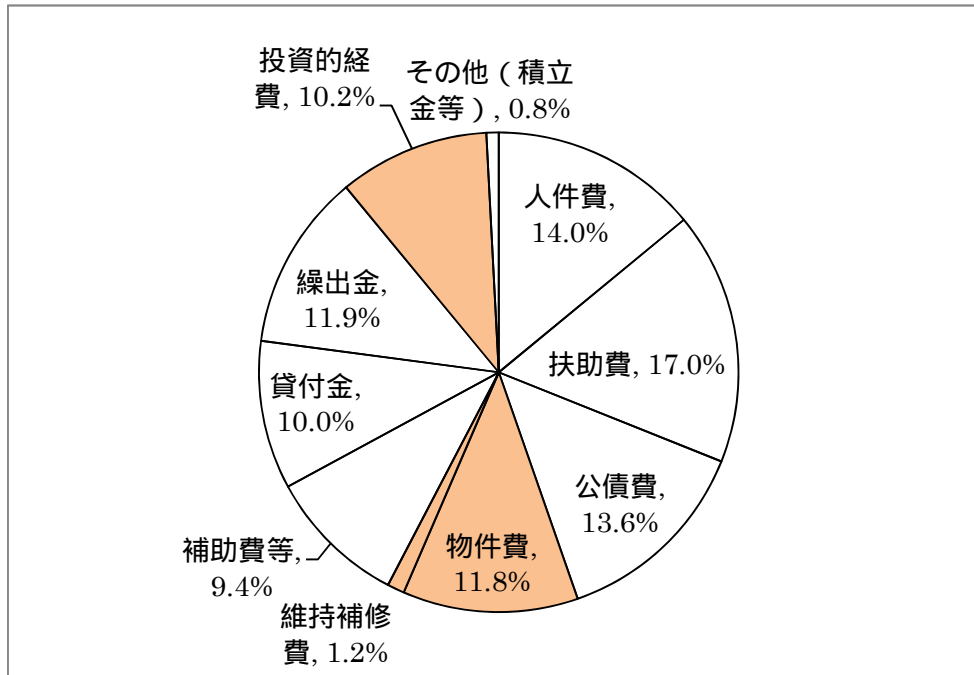
扶助費だけが増加傾向にあり、今後も増加する見込みです。



行財政改革課作成

2012年度性質別歳出決算額（一般会計）の割合

2012年度は、927億円の歳出があり、内訳は次のとおりとなっています。



公共施設の更新・修繕に係る予算

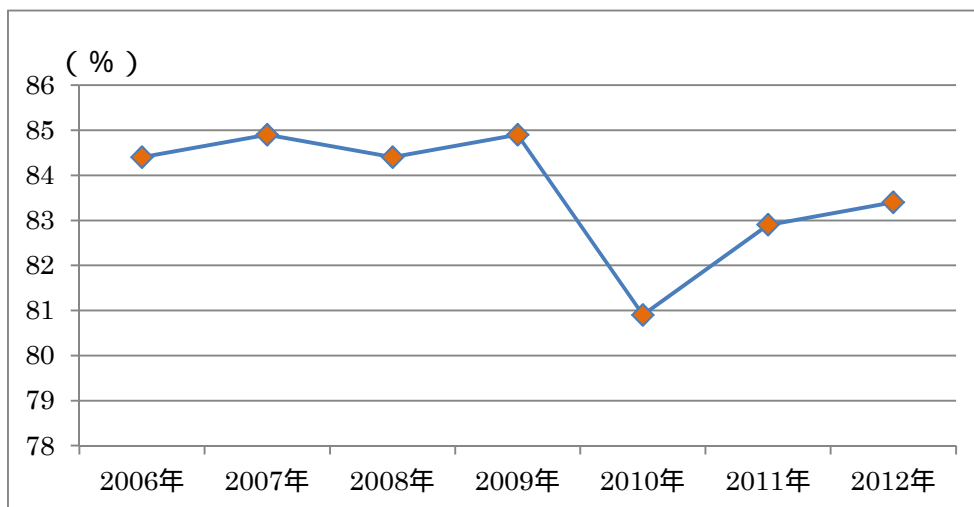
2012年度歳出のうち、公共施設の整備や修繕等（管理費等除く）に充てられた予算のみを抽出した結果、約47億2,000万円でした。

| 予算区分 | 金額 | 抽出条件（金額算出の方法） |
|-------|-------------|-----------------------------------|
| 投資的経費 | 約42億1,000万円 | 投資的経費のうち、普通建設事業費を抽出から賃金や用地費等を除いた額 |
| 維持補修費 | 約4億8,000万円 | 維持補修費は全て抽出 |
| 物件費 | 約3,000万円 | 物件費のうち、修繕費のみを抽出 |
| 計 | 約47億2,000万円 | |

公共施設（施設白書の対象）の整備や修繕に充てられた経費のみを抽出

経常収支比率 の推移

人件費や公債費などの固定費が占める割合が80%を超えており、財政構造の弾力性が低くなっています。

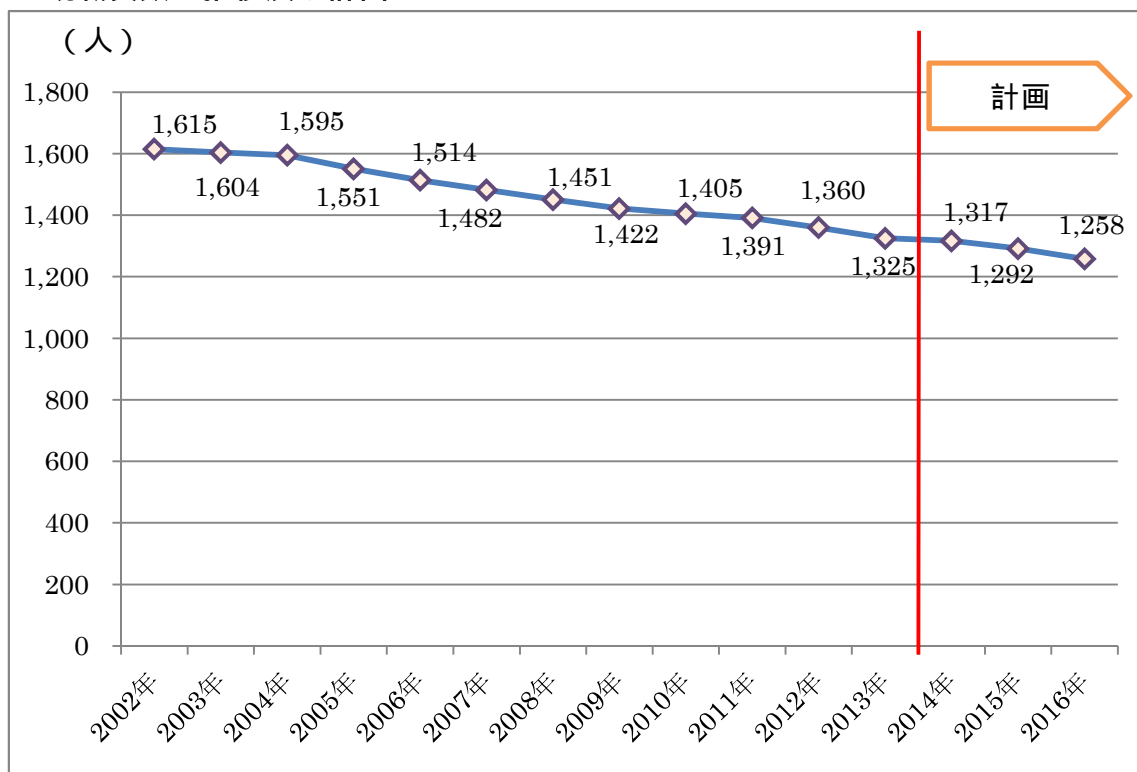


経常収支比率とは、経常一般財源等（毎年度経常的に収入される財源）のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費に充当されたものが占める割合を表すものです。

4 職員数

事務事業の整理・統合をはじめ市町村合併によるスケールメリットを活かした組織や業務執行の体制の再構築を進めています。

正規職員数の推移及び計画



2013年までは実績値。2014年以降は鳥取市定員適正化計画（第二次）